年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（　1組：平井　）　（　2組：平井　）　（　3組：大森　）　（　4組：大森　）　（　5組：平井　）

使用教科書：（『新編　現代の国語』（東京書籍）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	『こそそめスープ』 筆者独自の考え方を読み取り，人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	１筆者の思いの変化に注意しながら，本文を通読する。 ２第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。 ３「こそそめスープのある世界」は，筆者にとってどのようなものであるかを理解する。 ４筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について理解する。 ５第三段から，筆者の人間に対する考え方を読み取る。 ６筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出し，「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。また，「本物のこそそめスープ」とはどのようなものかを話し合う。	○		○	［知技］ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ［思判表］ 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］ 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	10
	定期考査						○	○		1
	『水の東西』 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて，日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し，読み方を知る。 ・要旨をまとめ，文章の要点を把握	・「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。 ２本文が，日本と西洋の具体例を挙げ，分かりやすい文章となっていることを理解し，対比を通して論じていることを押さえる。 ・「鹿おどし」の具体的な動きと，「鹿おどし」を見て筆者が感じ取っ	○		○	［知技］ ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などにつ	○	○	○	10
	グラフや写真の読み取り方 ・図表や画像から必要な情報を読み取る。	・図表や画像を読み取る観点を理解する。 ・「課題」の中から一つを選び，複数の文章について読み取ったことを表に整理する。 ・表に整理した内容と，それに対する自分の考えを発表し合う。	○	○	○	［知技］ ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	『鍋洗いの日々』 自分の道を切り開いた筆者の体験談から，仕事に対する思いを読み取る。	・筆者の調理場での体験と必死の行動に注目し，その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら，本文を通読する。	○		○	・筆者の調理場での体験と必死の行動に注目し，その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら，本文を通読する。 ・筆者の「思わく」や培った経験からの自負		1		10
	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	・「課題」の中から一つを選び，身近な社会生活や，新聞・テレビのニュースなどから，興味・関心のあることをメモに書き出し，テーマを決める。 ・自分の決めたテーマに沿って，自分の経験を振り返ったり，人から話を聞いたり，実際に現地を観察した		○		［知技］ ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ［思判表］ ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた				6
	定期考査						○	○		1
	『無彩の色』 色について論じた文章を，具体例の役割を押さえながら読み，筆者の価値観と主張をつかむ。	・取り上げられている具体例を押さえながら，本文を通読する。 ・灰色に対する一般的なイメージと特性を把握して，まとめる。 ・白黒写真の具体例から，灰色に対する筆者の評価とその理由を読み取る。 ・筆者の主張を踏まえて，カラー写	○		○	［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握	○	○	○	10
	『新聞記事を読んで意見文を書こう』 ・」記事の読み取りを踏まえ，根拠を明確にして意見をまとめる。 ・問いを作って絞り込み，書くための題材を見つける。	・見出しに注目して記事の内容を要約し，問題の本質を理解する。 ・「ゲーム依存」の新聞記事を読んで意見文を書いた例を参考に，意見文の書き方を確認する。 ・選んだ記事について，見出しに注目して内容を要約し，問題の本質を理解する。		○	○	［知技］ ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深め使っている。 ［思判表］ ・「書くこと」において，自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

3学期	『真の自立とは』 「自立」の在り方について考察する文章を読み，自分の考えを持ち，視野を広げる。	・現代社会における「できる」「できない」の構造と，それが人生に及ぼしている影響について読み取り，まとめる。 ・筆者の主張する「自立」について，現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り，まとめる。	○		○	［知技］ ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。				10
	定期考査						○	○		1
										合計 73